

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年8月12日(最終)

2003年8月10日現在：

8月10日に終わる週には、コロラド州の東部平原全域に雷雨が発生し、有効な降水が記録された。1週間の州平均農作業日数は6.5日（前週：6.5日）であった。高温は雷雨の為一時的に落ちたが、全体に高温の日が多かった。雷雨は土壤水分の改善には繋がらず、土壤水分は前週より多少悪化した。

春小麦は29%が収穫された(昨年:36%、平年:33%)。作柄は“Good~Excellent”と報告された。

冬小麦の収穫は全州にて完了した。5年平均より多少早い終了であった。

2003年8月1日付けUSDAの収穫量予想は、7月1日予想と変わらぬ数値であった。7月の高温・乾燥が単位収量の伸びを止めてしまったと言えよう。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想は、別表の通りである。

土壤水分：2003年8月10日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	38	37	25	0
Subsoil (%)	36	43	21	0

冬小麦生育状況：2003年8月10日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Harvested (%)	100	100	100	99

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年8月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

Colorado	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
	1,650	2,200	22.0	35.0	35.0	36,300	77,000

2003年作付け品種：<http://www.nass.usda.gov/co/whtvar03.pdf> このページに2003年作付けの冬小麦の品種明細が掲載されています。

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com